

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	24680
事業名	ポイ捨て等防止啓発・指導費					
評価担当課	所 属	環)環境事業部 事業廃棄物課			電話番号	011-211-2927
施策名	－					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	ポイ捨てや歩行喫煙者の数は、条例制定前と比較し9割程度減少しているが、令和5年度の違反者は90人であり、依然として違反行為が散見されている。また、ポイ捨てや歩行喫煙に係る苦情や問い合わせが、電話やホームページにより、年間50～100件ほど寄せられている。喫煙制限区域内での違反行為は減少傾向にあるが、条例違反とならない区域周辺における苦情が増加している状況である。
	事業内容(何を実施し)	①「札幌市たばこの吸い殻及び空き缶等の散乱の防止等に関する条例」(平成17年8月1日施行、10月1日罰則適用)の啓発・指導業務のため、散乱等防止指導員を配置し、喫煙制限区域内での指導・過料徴収及び制限区域外の地下鉄駅周辺や大規模公園等での指導を行う。 ②条例認知度向上のため、交通広告や動画配信等を実施する。 ③市民の環境意識の醸成を目的に、地域における清掃活動を支援する。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	市、事業者及び市民等が協働して美しいまちづくりを推進し、安全で快適な生活環境、さらには観光都市さっぽろにふさわしい環境を確保する。
	他都市の状況	東京都千代田区、広島市、名古屋市、大阪市などにおいて罰則を伴う条例を制定し、指導員による啓発・指導を行っている。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	22,389 千円	うち特定財源	147 千円	正規職員業務量	1.4 人工
令和5年度予算額	27,111 千円	うち特定財源	206 千円	正規職員業務量	1.4 人工
令和5年度決算額	21,354 千円	うち特定財源	87 千円	正規職員業務量	1.4 人工
令和6年度予算額	28,340 千円	うち特定財源	169 千円	正規職員業務量	1.4 人工

指標	アウトプット活動指標1	散乱等防止指導員による指導・啓発日数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		359日	359日	355日	358日	358日	358日
	↓						
	アウトカム成果指標1	条例施行前からの散乱物数増減率(定点あたり)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		▲95%	▲90%	▲87%	▲90%	▲90%	▲90%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	指導・啓発日数は散乱等防止指導員の欠員等の影響により減少した。条例施行前からの散乱物数増減率は目標未達であり、今後も巡回や周知啓発活動を継続することで目標達成を目指す。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2	過料適用件数のうち条例を認識していた割合				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		95%	90%	80%	90%	90%	90%
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	条例認識率の向上に向け、手法や媒体を検討しながら、若年層への啓発や市外からの観光者等への周知を中心に、引き続き市内全体で多方面からPRを行うとともに、指導員による巡回指導を継続することで目標達成を目指す。					

今年度の見直し内容	効率的な啓発媒体を検討し、広く市民及び市外在住者に対する啓発を実施している。
来年度以降の方向性	条例認識率の維持向上や違反者数の減少に向け、手法や媒体を検討しながら、若年層への啓発や市外からの観光者等への周知を中心に、引き続き市内全体で多方面からPRを行うとともに、指導員による巡回指導を継続する必要がある。